

れであろう。

「0.7%支援」というスローガンは、ヨーロッパの一部の労働組合や社会運動団体が最近提唱している南北支援活動と軌を一にしたものであろう。イデオロギーの東西対立の崩壊は、貧富の南北対立に取って代わっている。経済における社会的な要素や人間的な要素の重視が必要となってきた。経済を倫理的に組み直すことが必要とされている。この中で労働者協同組合の果たす役割は大きいと言える。その世界的普及のためには、やはり何らかの支援と協力が不可欠であろう。そうした一環として0.7%構想がある。レジス会長に聞いたところでは、この構想はあくまでもプランの段階であって、具体化には多少の議論が必要だとのことであった。

ともあれ、シコバは、地域ブロック化を進めて、まずそこでの結束を図ろうとしている。すでにヨーロッパにはCECOP委員会があり、昨年ラテンアメリカCICOPA委員会が結成され、今年はアラブアフリカCICOPA地域会議が開催されている。残る大きな地域ブロック化はアジアである。アジアは先進資本主義国、社会主義国、中進国、開発途上国など政体が多様な中で、労働者協同組合の形態も多様であり、どこの国が地域委員会結成のための旗振りをするのかはなかなかむずかしい問題である。しかし、当面、アジアの情報センター的な役割を果たす機関がアジアに早急に作られるべきだと思われる。わが協同総合研究所こそがそうした国際研究情報センターの役割を担える最有力の機関だと思われる。

### ＜労働者協同組合世界会議報告＞

## モンドラゴンとイタリアの協同組合

古谷 直道（東京都／センター事業団）

### モンドラゴン

—なぜか懐かしい風景—

バスが山道を登っていく。

何十年も昔、疎開した山村。そこは「父鬼」というところ、鬼が出るぞということで、小さな部落が隠れ住み、ずっと中世の言葉が残っていた、ひどく貧しい谷間への道を思い出す。いま、私はモン・ドラゴンへの山道をたどっている。ここにはドラゴン籠が出た、労働者協同組合人たちは、「フランコ政権崩壊までここに隠れ住んだ」、バス語という変わった言葉が話される山間の土地。

バスが山道を下りはじめた。

突如、モンドラゴンの町並みと工場群が姿を現す。工場の中を歩く。生協物流センターを見る。技術学校・研究所を見学する。山手の方に登っていく。向いの傾斜部は住宅地。中枢部に至る。病院がある。創始者の像がある。

これは、たしか見たことのある光景だ……………

思い出した……………

1961年4月頃、日立製作所に入社した私は、同社の発祥の地・茨城県日立市で新入教育に参加していた。そこには、山手工場・海岸工場があり、職域生協があり、技術学校・研究所がある。病院があり、公会堂があり、中枢部には創始者小平浪平の銅像がある。さらに、創始者の愛弟子がグループの実権を次の世代に渡したばかりで、未だ健在という、今のモンドラゴンとそっくりな状況であった。

もちろん、一方は日本の代表的な大企業発祥の地であり、他方は現代を代表する生産協同組合発祥の地である。その歴史的存在には大きな差がある。しかしなぜか同じような感じをもってしまうのは、地形の一部的類似、工場を中心とするトータルな町作りという形態上の類似性だけでなく、時代と国と経済制度の違いを越えて、仕事作り、地域おこし、(共同体的)経済組織作りの共通性も持っているプロセスや雰囲気の共通性によるも

のではないかと感じてしまった。

モンドラゴン協同組合は、これまで何度も大きな試練を大胆な改革で乗り越え、1兆円にも及ぶ年間事業高を維持し、スペインの経済に対しても影響力をもつに至っている。そして今、ヨーロッパの統合と新しい時代に対応して、国際化を推進するとともに、協同組合の倫理的原則をさらに深めようとしている。

モンドラゴンの風景の中で、創始者アリスメンディアリエタ神父の残した言葉をかみしめる。

「人がすぐれた専門家や技術者になるためには、修行や勉強のための多くの時間が必要であり、また大抵は教師を必要とする。

人は、協同組合主義者として生れてきたのではない。そうなるには、社会的成長や社会生活における訓練が必要である。

協同ができる真の協同組合主義者になるためには、人は、個人主義や利己主義的本能を抑えることや、協同の法則を適用することを学ぶ必要がある。人は、教育と徳の実践を通じて協同組合主義者になるのである。」

## イタリアの空は青く晴れていた

### エミリア・ロマーニャ州

先導する車は、エミリア・ロマーニャ州の労働者生産協同組合連合会の理事長であるアントニア・フィネリさん。お昼にワインを飲んだというのに、時速150キロ。当方は朝日新聞の岩垂さんと二人旅。昼食時に、フィネリさんと話したし、昨日はローマのレガ（全国協同組合・共済組合連盟）本部訪問をして基本的なことは、聞いてある。これまで不勉強であった私にも、イタリア協同組合運動のすごいところや魅力的なところが分りかっていた。第一、共和国憲法がすごい。

第1条 イタリアは、労働に基礎をおく共和国である。

第45条 国は、協同組合の発展を助けなければならない。

また、第一次大戦後の一時期、政府首班の自由

主義者ジョヴァンニ・ジョリッティが、社会主義者やカトリックと連携し、協同組合のイニシアティブを支持する法律を促進したという。こうした歴史的な積み重ねの中で、経済における多元主義・民主主義の土壌ができ、事業活動をするにあたって協同組合も民間企業と同一の出発点に立つことができるようになった。

こんな良い社会的条件があっても、協同組合運動が全国一様に、どんな分野でも発展するというものではない。エミリア・ロマーニャ州を含む中北部では、カトリック運動や政治的状况に対応した広範な運動があつて、もっとも活発な協同組合が出現したのだ。

現在、エミリア・ロマーニャ州の労働者協同組合は、168単組、組合員1万8千人、従業員2万2千人、事業規模約4千億円である。

この州における活動の中に、エンジニア・プロジェクト部門というのがあり、興味を引かれた。

これは、公共的なテーマについて、エンジニアのグループがプロジェクトを組んで、企画・設計し、行政に提案するものである。内容は、たとえば水道のこととか建物の内装のことなどで、現在数百プロジェクトが存在し、事業高も約20億円程度になっている。行政がこれらの提案を採用すると入札が行なわれる。施工は、別の協同組合なり企業がやる。企画と施工は別というのが特徴である。専門家・技術者の組織には難しい面もあるが、こういう風に挑戦しようという人もいるということだ。

### 建設協同組合CMB

組合員700人、関係企業や雇用労働者1200人、事業規模250億円ほどのイタリア建設業界第15位の協同組合である。第二次大戦以前からあった左官の組合と土木の組合が、1978年に合体してできた協同組合で、この合体によって、社会的に有効な仕事ができる条件ができあがったという。組織が大きくなっていくと、運営が難しくなるが、これは、3年、1年、4ヶ月毎の総括と計画、予算と決算をかつちりやるとか、資金・情報の集中と事業・人・組織の分散をうまく組合せてやる外

に、経済バランスと社会バランスの均衡をはかることによって、解決していているという話である。

#### ストラッディ協同組合

「人生にとって、働くことは本質にかかわることである。障害者にとって、特にそうなのだ。」という考えで運営されている障害者の協同組合である。この組合は15年前から存在するが、3年前、「社会協同組合法」が制定され、州レベルの援助を受けるようになった。「この協同組合の目的を認める人は、すべて組合員である」ということで、障害者、その家族、そこで働く人、ボランティアの人、すべて組合員である。ボンディ女史（理事長）以下、理事はすべてボランティアである。州からの財源・寄付の外、労働が可能な障害者たちが中心になって生産しているワイン・ホロホロ鳥・花などによって収入を得ている。寄付によって得られた広大な敷地に、ホロホロ鳥や花やうさ

ぎや馬にかこまれて障害者たちの明るい笑顔があった。

スペインとイタリアの協同組合。ほんの外側を一撫でしてきただけだった。しかし、なんとモカラツとして気持ちがいい。

彼らは、明るくて、さわやかで、繊細で、したたかで、大胆に進もうとしているように見える。さて、私たちは、彼らと同じ道を行こうとしているのか。そして、彼らが先を行くのか？

私たちの目指す頂上は彼らと同じで、登山道が違うのか。それとも、別の3つの山に登ろうとしているのか。いやまて、頂上が問題なのではない。山登りのプロセスそのものが大事というのか。

いずれにしても、彼らと交流をすると、まったく私たちは仲間だということは体で分る感じだ。でも、互いに歩いている道がどんな道なのか、もっとよく知りたいと思う。

協同総合研究所／日本労働者協同組合連合会 編  
全国縦断シンポジウム

B5判・92頁 1200円 千240

#### 「雇用不安と労働の未来」報告記録集 I

今日の構造的な不況と雇用不安を革新的に打開し、人間らしく働きつけられる地域づくりへむけ、労働・産業政策への対案をしめす3回のシンポの記録。講演記録：伊藤誠、富沢賢治、下山房雄、他海外の労働者協同組合資料も掲載。

協同総合研究所 編／富沢賢治 序

B6判・186頁 1350円 千240

#### 変革期の世界における協同組合の価値

——ICA(国際協同組合同盟)東京大会ベーク報告要約版——

世界的経済民主主義に迫る92年大会ベーク報告の要約版。広く社会運動に関わる方も含め協同組合への入門の書。研究会、学習会のテキストとしても最適。

協同総合研究所 編 協同総研資料集No.2

B5判・96頁 1200円 千240

#### 共同保育所運動から子育てコープへ

——あいち子育てコープ研究集会の記録——

子育てに悩むお母さんたちと手を結び保育所の協同組合化の道を指ししめす。保育の新しいニーズにこたえる実践書。講演報告：池上惺、後房雄、他資料等。

※注文は郵便振替、電話、FAXにて。おりかえし送本。

協同総合研究所

〒169 新宿区高田馬場 4-2-31 瀬古ビル 理事長：黒川俊雄  
電：03-5389-6401 FAX:03-5389-6403 振替：東京4-552949